

青指ニュース

第152号

発行者

河内長野市青少年指導員連絡協議会
広報部

<http://www.kawachinagano-seisyonen.org/~seishikyo/>



チーム学びの森 (7月29日~31日)

一昨年は雨、雨、雨、昨年はピーカン、ピーカン、ピーカンと2年続けて極端な天候で幕を閉じた学びの森でありましたが、今年は暑すぎず、かと言って大雨にたたられる事も無く、え～感じて終える事ができました。

さて、今年の学びの森は初の試みとして、一般学生リーダーの募集を行いました。リーパルの参加者が少ない為、その穴埋めをしてもらおうと考えたのです。正直、僕自身は5人位来てくれたらいい方じゃないかと考えていたのですが、実際は20人を超える学生リーダーが参加してくれました。ありがたい事ですが、そうすると、次は別の不安が…

『本当に子ども達の面倒を見てもらえるのか?』『もしかすると面倒を見ないといけない子ども達が増えるだけかも』なんて考えが頭をよぎりながら迎えた学びの本番でした。ですが彼らは、いい意味

で僕を裏切ってくれたのです。班リーダーである、青指のオッチャン、オバちゃん子ども達の隙間に実に上手に埋めてくれました。これは嬉しい誤算でした。

リオ五輪のメダリスト達のコメントでも共通するのは、『このメダルは自分一人で獲った物じゃない』『支えてくれる周りの人がいたから獲れたメダルだと…』。僕は学びの森にも同じ事が言えると思います。皆が一つの事に向かって協力したからこそ、今年の学びの森の成功があったと思っています。誰一人欠ける事無く終える事ができたチーム学びの森に本当に感謝します。ありがとうございました。

学びの森実行委員長
須田 和孝



南青指親睦交流会 (9月24日)

みのでホールで南河内ブロック青少年指導員連絡協議会親睦交流会を行い、123名(河内長野市からは33名)の参加を得て、無事に終えることができました。

この親睦交流会は、南河内9市町村の青少年指導員の親睦を深め、連携や今後の活動の活性化を図る目的で毎年担当市が内容を考えこの時期に行われている事業で、今年度は河内長野市が担当しました。

はじめに南河内青指協松本会長の開催挨拶、和田教育長からのご訓示に続き交流会に入りました。

交流会自体は、これまでとは違い、河内長野市の得意技であります『ものづくり』を通じての交流と「手打ちうどん」「箸づくり」「インディアンクロス」「シールパズル」を班に分かれて作ってもらう企画で、最後に打ち上がったうどんを茹でカレーうどんにし、お腹を一杯にいただきました。

今回の交流会の実施に際しては本当に色々ありました。特に今回は学びの森等では数時間から半日をかけて行うものを短時間で仕上げてもらおうという内容であり、班スタッフの皆さんに負担をかけるのではないかと心配もしましたが、結局私の取り越し苦労で、はじめこそ緊張はしていましたが直ぐに雰囲気慣れ「こんなに簡単にうどんが作れるんや!」「うちでもうどんをするからセットを貸してほしい」等という声が聞かれ、皆さん楽しくうどんを踏み、黙々と杉棒を箸の形に削っておられました。

最後のカレーうどんを食べる際には、「美味しい、美味しい」「カレーも美味しい」と連呼しながらしっかりと完食してくれました。

また今回は、本格的なお手前による抹茶のサービスを行いました。これには皆さんも感激し、お茶を楽しみながら自己紹介や情報交換などを行い交流を深めることができました。

この他にも、市町村のキャラクター等を入れた缶バッジを配付しましたが、これも人気を集め追加の作成依頼が来ている状態です。

このように今回の交流会は、『ものづくり』をテーマにして行いましたが、参加された皆さんからは「こんなしたのはじめて」という方が多く、皆さんにとってもいい体験ができたと思いますし、帰り際には皆さんから「楽しかった」という声を耳にし、目的であった親睦交流がうまくできたものと思います。

今回の交流会の開催に際しまして、企画や準備、当日と青少年指導員の皆さんには大変お世話になりましたことに心より御礼申し上げます。

余談ですが、当市は、来年度、南河内ブロック及び府青指の会長市という大きな役割りに当たる予定で、皆さんには校区活動に加え、府・南河内の活動にとご負担をおかけすることも多くなりますが何卒ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

本当にありがとうございました。



音フェス準備快調!

第25回音フェスの出演グループが決まりました。今年は19グループ延べ人数120人の出演となります。9月4日、10月2日と2回の全体練習を終え、11月13日の本番に向けて、着々と仕上がりを見せております。今回は長野中学の吹奏楽

部も合間のゲストに迎え、盛り沢山のプログラムになっております。

青指の皆さん、お誘い合わせの上、是非観に来て下さいね。



ジュニアキャンプ (8月21日~22日)

毎年、夏祭りや登校日と日程が重なって大変です。今年はプールの水温も高かったため、水から上がったときにガタガタ震える子もおらず、笑顔が素敵でした。昼食のカレーライス作りではご飯を焦がす班もありましたが、おおむねうまく作れたようです。

「楽しかったことは?」と尋ねると「プール」「キャンプファイヤー」と、過半数が挙手してくれました。「またキャンプに参加出来たらどんなことしたい?」と聞くと「山登り、花火、虫採り、川・池で魚とり、プールの時間を長く」との声が返ってきました。

なお、入浴時のタオルの扱いを知らない子がおりましたが、マナーを教えるのも青指ではないかと思いました。



美加の台中学校区

楽習室「ちりめんモンスターを探せ」

7月16日(土)

昨年好評だった楽習室「ちりめんモンスターを探せ」が、今年も開催されました。講師は今年度より美加の台青少年指導員に仲間入りした塚原さん。「これ何やる?」見つけたモンスターを持って、はっきりなしに質問して来る子どもたちに対し、「それ、アナゴやな」「こっちは、タチウオかな」と的確に答えていきます。

今年は豊漁だったのか、獲った時期が良かったのか珍しい物が多く混じり、レア物とされているタツノオトシゴも続出し、子どもたちのテンションもうなぎ上り。ちまたで大流行のポケモンではなく、リアルなモンスターゲットに、大人も子どもも興奮した楽習室になりました。



夏祭り

7月23日(土)

美加の台ビッグイベントの一つである夏まつり。青指からは、恒例となったフランクフルト、ソース

せんべい、ジュースを出店。午前中男性陣は会場設営、女性陣はフランクフルトの下茹でをぼこぼこ。外も暑い、中も熱い!

午後4時の挨拶で販売もスタート。今年は他と被ることなく売れ行きも好調。呼び声も明るく高らかに会場を賑わせました。

美加の台中学校区は新しい仲間が増え、ベテランとのコンビネーションで機動力抜群。楽しく手際よく1日を終えることができました。

美加の台学園祭

9月10日(土)

今年で2回目となる小中学校一体型の行事。青指では、午前のフィールドワークと午後の防災ゲームをお手伝いする事になりました。

フィールドワークは、異学年交流と題して、小学3、4年生と中学2年生でチームを作りました。小中学校周辺のチェックポイントを周り、防災クイズに答え、特製のシールを集めて楽しみました。防災ゲームは、2ブースを担当し、体験に訪れた子ども達と一緒に学習しました。



千代田中学校区

楽習室とバラエティーフェスタ

9月17日(土)に、楽習室で植え付けをしたイモ畑で、第2回目の草取りを行いました。青指スタッフのみで汗だくになりながら、数回休憩を挟んですべての草抜き作業を終了しました。その後、イモ掘りに向けて出来具合を見ようと数カ所の試し掘りをしました。すると腐敗したイモが、全部掘ってみると、除草剤を撒布したのが原因か、全滅でしたので、やむなく楽習室でのイモ掘りは中止の決断をしました。



10月30日(日)は、千代田中学校区青少年健全育成会構成団体と協力団体による千代田バラエティーフェスタです。10時から15時まで千代田小学校(運動場・体育館)で、ステージ上の演技、グラウンドゲーム、模擬店と多彩な催しを行います。青指は模擬店で、わた菓子とポップコーンの販売です。



2年前の写真

西中学校区

楽習室「缶バッチを作ろう」9月24日(土)

天野小・高向小合同で、青指主催楽習室「缶バッチを作ろう」を開催しました。

54名が参加し高向小の体育館で、自分で描いた絵や、写真等を持って来て楽しく作りました。

お手伝いして頂いたボランティアさんや、お母さん方にも「ワァ~楽しい、きれい」と喜んで頂きました。

ちなみに、缶バッチ作成の道具は美加の台校区よりお借りしたものです。

西中校区では夏祭りパトロールで8月6日(土)に「高向くろまる盆踊り」、8月20日には「旭ヶ丘納涼の夕べ」を実施。

秋祭りパトロールは10月8日(土)に実施しました。



東中学校区

合同あいさつ運動 7月21日(木)

夏休み第1日目の朝7時45分から30分間、中学校区内の4校の児童・生徒代表(希望者)であいさつ運動が実施されました。

三日市町駅前で、通勤途中の方々に、元気いっぱい「おはようございます」「いってらっしゃい」を呼びかけることができました。

子どもたちの呼びかけに、たくさんの大人があいさつを返してくださり、すがすがしい朝となりました。校区一帯にあいさつの輪が広がるきっかけになればいいなと思います。



次の取組みは、冬休みの第1日目の予定です。

夏祭り・楠ヶ丘地藏尊祭り、でパトロールを合同で実施。10月2日(日)秋祭り事前パトロールでは、各集会所又はだんじり小屋等を巡回して、各団長さんに小中学生への注意事項の周知をお願いしました。祭り本番の10月8日(土)・9日(日)は、フォレスト三日市の3階テラスを詰め所として使用し、健全・青指・各小中学校関係者の多数の参加を得て、和気藹々とフォレスト三日市周辺をパトロールしました。今年も何事もなく終了できた事がなによりでした。



清見台祭りに参加 8月6日(土)

足元が悪い中でしたが、沢山の方が来てくださいました。バンド演奏やビンゴ大会も始まり、賑やかな雰囲気の中、青指メンバー8名と一緒にバルーンアートを楽しみました。夏の暑さを吹き飛ばすような清見台の大イベントでした。



長野中学校区

長中校区健全育成会のサマーキャンプに協力

7月16(土)~17日(日)

4年生~6年生の96名の子ども達とスタッフ50名で滝畑ふるさと文化財の森センターに1泊2日のキャンプに行ってきました。1日目は滝畑ダムを見学して、マス掘みをして昼食にマスの塩焼きを食べて、まき切り体験、プール、バーベキュー、キャンプファイヤー・2日目はドッチボールをしてお昼に解散というメニューでした。

子ども達は行きのバスからテンションが上がり、疲れ知らずの2日間でした。



小山田小夏休み工作教室に協力

8月8日(月)・9日(火)

毎年恒例になってきた、工作教室に青指から3名が参加協力をしました。

革で動物を作る教室・牛乳パックで作る椅子・竹で作るけん玉・空箱で作るゲームに参加の子ども130名と地域の方約30名と共に暑い中子ども達との時間を楽しみました。

それぞれ、夏休みの工作宿題を仕上げ、嬉しそうに帰宅する姿が微笑ましかったです。



加賀田中学校区

納涼映画祭

7月23日(土)

今年度も、納涼映画祭が加賀田小学校で開催されました。育成会主催の夏のイベントで、青指はソースせんべい600枚・ラムネジュース540本を販売致しました。

今年大ブレイクした人気の映画でもあり、昨年より多くの家族連れで賑わいました。

模擬店に買いに来る子ども達の大きな成長をうかがえるのも地域のイベントの良いところではないでしょうか。双子の兄弟が立派なお兄ちゃんになっていたたり、かわかった女の子も立派なお姉さんになっていたりと、青指活動ならではの醍醐味のようにも感じます。

嬉しい反面、地域の高齢化もうかがえ、イベントの準備や片付けなどが難しい面もあります。



加賀田地区連合盆踊り

8月20日(日)

加賀田地区連合盆踊りが、加賀小学校の運動場にて開催されました。

加賀田地区の範囲は広い合町会として、大勢の人たちで盆踊りが開催されます。運動場の真ん中に檜を設置し、提灯が隅々まで吊られ夏のイベントのひとつとして、地域の方々に愛されています。

青少年指導員と健全育成会の方が協力して、模擬店を出して盆踊りに協力しました。青指では、ソースせんべいとおもちゃを販売しました。例年通りおもちゃは光る刀や光る指輪、スティックなど光り物でまとめており、楽しみに買いに来られます。

今年度も、妖怪ウオッチキャラクターが人気があり、とても早く完売となりました。

盆踊りは、河内音頭など誰もが小さい頃から馴染みの曲で、子どもから大人まで楽しんでいました。



南花台中学校区

南花台夏祭り

7月30日(土)・31日(日)

30日の子ども祭りでは、子ども神輿が製作に関わった子ども達に担がれて南花台の中を練り歩いて会場に登場。ワッショイ!ワッショイ!の掛け声が響きわたりました。青指は今年も輪投げでの参加でした。

31日の本祭りは例年通り「あてもの」で参加しました。準備中にアクシデントが有りバタバタしましたが無事開店。スタッフが足りないので、色々な方に手伝ってもらいながら最後までやり切ることが

が出来ました。

子どもの数が減ったのか、あてもの数が多かったのか、今年は残念ながら完売とならずでした。しかし子ども達の賑やかな声、花火が揚がった時の歓声を聞くと疲れも吹っ飛びました。

2日間を通じて地域の子もたちとふれあうことができ、有意義な時間を持つことができました。

